

大阪 市況こう着も需給環境は日に日に悪化

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は需給双方ともに様子見のまま週後半へ向かっている。4月に入り、電炉筋の大勢が数量・時間制限買いを実施し、フリーでの荷受け対応は一部にとどまっているため、荷余り感には日に日に強まっており、市況膠着ながらも、需給での不安はなお根強く残る格好にあるようだ。同地区電炉のH2実勢値は2万3,500~2万5,000円、新断バラ実勢値は2万5,000~2万6,000円(一部上値2万6,500円)、鋼ドライ粉バラ実勢値は2万~2万1,000円(一部上値2万1,500円)見当で推移。

先週には韓国・現代製鉄が米国産ディーブシーカーゴ2船計8万7,000ト(C F R 253ドル)、日本玉6~7万ト(H2 F O B 2万5,000~2万5,500円)、ロシア産A3・2~2万5,000ト(C F R 248ドル)を手当てした。短期での大量契約を受け、今後の上げシロには不明な点が多

いが、とりあえずは3ヶ国の値上げ要求を受け入れたのは事実であり、これに合わせ関東湾岸価格もH2 F A S 2万4,000円寄りへ向かっていることが、地区市況の下落に歯止めをかけている。

だが、先月末からの品種・数量・時間制限買いが今週に入っても広がる動きにあり、月初から販路の狭いといった異例の事態が起きている。中でも、ドライ粉は他社の制限によって入荷増を防ぐ売り先は少ないまま。各社、在庫レベルが高いなかで、近隣の制限が他電炉の入荷を押し上げる構図は4月に入ってもつづいているだけに、「メーカーによっては値下げの意識も強まり始めている。足元、輸出が下支えしているが、地区需給だけ見れば、再び下げ向かってもおかしくない状況」(商社)との声が多いようだ。

協同回収が「第4回四国でいちばん大切にしたい会社大賞」を受賞

(四国) 総合リサイクル企業の(有)協同回収(香川県三豊市高瀬町比地中353-6 柴田加子社長)は、このほど「第4回四国でいちばん大切にしたい会社大賞(中小企業基盤整備機構四国本部長賞)」を受賞した。香川県内で平成に創業された企業としては初めて、四国県内のリサイクル・スクラップ・廃棄物処理業者としても初の受賞となった。

同大賞は、四国地域イノベーション創出協議会による顕彰制度で、平成23年度から実施されている。社員や顧客、地域から必要とされ、『大切にしたい会社』と思われる企業等を表彰することにより、企業経営の新たな取り組みを後押しし、四国地域の経済活性化に貢献することを目的に創設されたもの。

4回目となる今回は、4社が受賞。このうち協同回収は▷障がい者と健常者を同様の基準で評価する独自の人事評価制度(同社の障がい者雇用率は4割以上)や、▷65歳で定年となった高齢者が希望すれば年齢に上限

なく働き続けることができる▷短時間労働制度を導入し、子育て女性の就労を支援するなど、働きやすい職場環境の



同社デジタル家電シュレッダー工場にて

整備に積極的に取り組んでいることが高く評価された。

同社は平成11年創業。金属・プラスチック等のリサイクル、一般・産業廃棄物処理、中古品の買取及び小売業などを行う総合リサイクル企業。顧客のリサイクルに関するニーズにワンストップで対応する資源回収拠点「Ecoと(えーこと)ステーション」やリサイクルショップ「エコリッチ」を香川県内で展開している。

4段階(寸動・1サイクル・連続・差連動)の働きをもつ

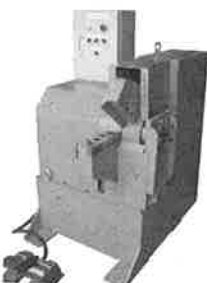
小型マルチアリゲーターシャー

MAC-240型

- 電線・ラジエーター・廃タイヤ・ジュウタン・綿糸の切断
- バルブ複合材料や異形部品の分解・整理

主仕様

油圧 20ト 2.2kW 4P
最大刃開き 150%
ストローク 10~15/分
切断能力 SS材20×50%



↑足踏みペダル

ナゲット・リサイクル機の専門メーカー

大阪カイショウ株式会社

〒550-0022 大阪市西区本田2丁目3番24号
TEL.06(6582)3459 FAX.06(6582)3520
<http://www.osaka-kaisho.co.jp/>

生産から廃棄物処理まで ナニワの刃物が応援します!



株式会社 **浪速刃物製作所**

本社 〒536-0004 大阪市城東区今福西4丁目3-22
TEL 06-6939-4871 FAX 06-6939-4874
東京 〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町446-1
TEL 048-925-4554 FAX 048-924-1974
E-mail info@naniwa-hamono.co.jp